

彦根市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間

平成30年度（2018）～令和9年度（2027）

彦根市は、琵琶湖の東岸に位置し、古くから畿内と北国・東国とを結ぶ交通の要衝として長い歴史を刻んできた。国宝の彦根城天守をはじめ5棟の重要文化財が指定されるなど、貴重な歴史的建造物が城山一体に現存し、国の特別史跡に指定されている。また、その周辺のまちにあっては、暮盤目を基調としつつも「どんつき」や「くいちがい」の道や路地が、彦根城下町特有の町割を形成し、要所に配置された寺院、武家屋敷、町家、足軽組屋敷などの歴史的建造物とともに旧城下町の歴史的景観を形成している。

また、旧城下町では、伝統的な工芸品である「彦根仏壇」の製造販売、祭礼行事や能と狂言の継承や茶の湯の伝統など、地域の歴史や伝統を反映した人々の活動が、城や社寺をはじめとする歴史的建造物などが相まって、情緒や風情を有する極めて良好な歴史的風致を形成している。

彦根藩主井伊家の大名文化にみる歴史的風致

彦根では、彦根藩主井伊家により彦根藩の政治が執り行われているとともに、大名の教養として、「能や狂言」・「茶の湯」などが行われてきた。

また、佐和山神社の祭礼である佐和山まつりが起源とされる「城まつり」では、甲冑に身を包んだ人々が旗印を掲げ勇壮にパレードをする、大名行列や古式砲術演武があり、沿道に多くの観光客が訪れる彦根の秋の風物詩として定着している。

このように、旧城下町の歴史的建造物とともに、伝統芸能や伝統文化の継承によって、彦根藩主井伊家の大名文化にみる歴史的風致が形成されている。



城まつり



能舞台（彦根城博物館）



荒神山



太鼓登山（稲村神社）

荒神山にみる歴史的風致

荒神山周辺は、古墳時代後期に山中に小円墳が30基以上築造されるなど、古墳時代を通じて葬送の山として機能してきた。山頂近くには、荒神山古墳が築かれている。奈良時代以降、仏教の要素が加わり神仏への信仰の山となった。

山頂にある荒神山神社における「水無月祭」や山中の南西にある稲村神社における「太鼓登山」が良く知られる。

このように、荒神山周辺では、長く信仰の山として祭礼行事が存続しており、荒神山にみる歴史的風致が形成されている。

城下町の伝統にみる歴史的風致

彦根の旧城下町には、歴史的な風情があるまちなみが現在も残っている。その中の足軽組屋敷があった地域では、組を単位とした活動が現在も行われている。

また、江戸時代の創業という仏壇店が軒を連ねる七曲がりや、歴史的建造物内で昔ながらの魚屋、酒屋などの商いが行われている河原町がある。旧城下町の中では、千代神社の「神幸渡御」などの祭礼も毎年継続して行われている。

このように、旧城下町に残る歴史的建造物とともに、伝統工芸、社寺信仰などが現在までも続いており、城下町の伝統にみる歴史的風致が形成されている。



足軽組屋敷



伝統工芸（彦根仏壇）



凡例

- 国指定文化財
- その他の歴史的建造物（社寺）



高宮太鼓祭り（高宮神社）



有川家住宅（重要文化財）

中山道の宿場町（高宮宿・鳥居本宿）にみる歴史的風致

中山道の江戸から63番目の宿（鳥居本宿）があった鳥居本の町では、名産の妙薬である「赤玉神教丸」を重要文化財の有川家住宅がある場所において、現在も製造販売が行われている。また、64番目の宿（高宮宿）があった高宮の町は、往時は多くの人々が往来した町である。現在でも、高宮神社で行われる春祭りの「高宮太鼓祭り」は、大掛かりな祭りである。

このように、中山道の2つの宿場町では、歴史的建造物とともに生業や祭りが一体となって歴史的風致を形成している。

彦根市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称 彦根城下町区域
重点区域の面積 約400ヘクタール

重点区域は、国宝・重要文化財建造物などの国指定文化財が集積する特別史跡彦根城跡を核に、周辺部の旧城下町に息づく大名文化や城下町の伝統行事、伝統工芸の活動が行われる区域としている。これらの貴重な歴史的風致を維持向上することにより、情緒や風情のある良好な市街地が形成され、彦根市全体の魅力向上につなげるもので、歴史的風致維持向上施設の整備または管理などの様々な事業に取り組み、彦根固有の歴史的風致を維持し、更なる向上を図る。

(1) 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業

1-1 特別史跡彦根城跡保存整備事業

特別史跡彦根城跡整備基本計画の見直し。石垣保存を含めた史跡整備を行い、文化財の適切な保存を実施する。

1-2 名勝玄宮楽々園保存整備事業

名勝玄宮楽々園における池（魚躍沼）の護岸、園路、橋、歴史的建造物の保存修理ならびに保存活用計画の策定を行う。

1-3 河原町芹町地区伝統的建造物群保存整備事業

重伝建地区の歴史的建造物の保存修理および修景事業に対する補助を行い歴史的なまちなみ保全を図る。

1-4 彦根城外堀跡保存整備事業

彦根城外堀跡の長曾根口御門周辺、切通口御門周辺などにおいて、保存、復元整備や外堀関連遺構に関する造詣を深める整備を行う。

1-5 歴史的風致形成建造物保存整備事業（金亀会館）

教育学問の施設として使用されてきた「金亀会館」を、歴史的風致の維持向上に繋がる学習の場として、保存修理を行う。

1-6 歴史的風致形成建造物保存整備事業（魚屋町長屋）

旧城下町の魚屋町に位置し、歴史的なまちなみを形成する長屋の「魚屋町長屋」について、建物調査、公有化、保存修理を行う。

1-7 未指定文化財調査事業

市内の未指定文化財を所有者の承諾のもと調査を実施し、文化財としての指定や登録などの保護措置の推進に努める。



(2) 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境に関する事業

2-1 旧城下町地区周遊環境整備事業

旧城下町地区特有の町割りが残る通りを、徒歩などでの移動をしやすい環境整備の推進および歴史的建造物などを紹介する案内板の設置などを行う。

2-2 旧城下町地区周遊環境構築事業

パーク・アンド・バスライドの社会実験を通して、まち歩きしやすい周遊環境の構築を検討する。

2-3 無電柱化等道路修景事業

旧城下町地区内の道路において、無電柱化ならびに歩道の修景整備を実施する。（市道立花佐和線、市道佐和立花線など）

2-4 歴史的な地域環境保全再生事業

歴史的な風景が残る地区において、地域と協議して歴史を生かしたまちづくり活動の推進に取り組む。



(3) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業

3-1 伝統工芸継承支援事業

彦根仏壇の活性化に係る人材育成などの事業に対して補助を行う。

3-2 伝統芸能継承事業

能舞台を活用し、伝統芸能の狂言を子どもたちが体験学習する機会を設ける。

3-3 伝統技術者育成支援事業

庭園管理の技術者の育成のため、庭園管理アドバイザー事業を実施する。

3-4 歴史まちづくり活動支援事業

空き町屋の利活用の促進を図る活動などの支援を行う。

3-5 伝統的行事開催事業

伝統的行事である「城まつり」および「念びず講」の開催支援を行う。



(4) 歴史的風致の普及・啓発と情報発信に関する事業

4-1 博物館展示・文化財等郷土資料公開事業

彦根城博物館および開国記念館などにおいて、彦根の歴史や文化などを紹介する。

4-2 歴史的風致情報発信事業

文化財現地説明会や出前講座などを通して、普及啓発を図る。

